

帝京大学・医		2008	2009	2010①	2010②	2011	2012	2013	2014①	2014②	予想	
有機化合物	芳香族化合物	48	ベンゼンと誘導体									
		49	フェノールと誘導体					○1				
		50	芳香族カルボン酸と誘導体			○4						
		51	芳香族アミンと誘導体						○5			
		52	有機化合物の分離		○4							
		53	検出反応・呈色反応				○1					
化学結合と物質の状態	化学結合	54	主な結合と結晶格子									
		55	結合エネルギー							○5		
		56	電気陰性度		○5極	○2極性						
		57	配位結合									
		58	分子間力と水素結合		○2	◎4	○3					△
		59	結晶構造, 密度と計算						○2			
	物質の三態	60	物質の三態変化						○1,3			
		気体	61	ボイル・シャルルの法則		○3						
	62		気体の状態方程式		○3							
	63		混合気体と分圧									
64	理想気体と実在気体											
溶液	65	溶解の原理			○2,4							
	66	固体の溶解度							○3硫酸銅			
	67	気体の溶解度		○3								
	68	沸点上昇等, 浸透圧		○5	○5冷	○5	○2,4	○3	○1,5		△	
	69	コロイド溶液の性質					○4					
反応の速さと平衡	反応の速さ	70	反応速度と速度定数					○1		○5		
		71	活性化エネルギーと触媒					○2触媒				
	化学平衡	72	化学平衡と平衡移動		○3,4	○3						
		73	平衡定数			○3						
		74	電離平衡, 電離定数							○3弱酸と塩		
		75	水のイオン積とpH									
		76	緩衝溶液			○3	○5				○2	
		77	塩の加水分解									
78	溶解度積											
高分子化合物	合成高分子	79	合成繊維, 合成樹脂		○5熱硬化性樹脂			○3合成繊維				
		80	合成ゴムと天然ゴム									
	天然有機化合物	81	単糖類, 二糖類							○4		
		82	多糖類					○1		○4		
		83	アミノ酸, ペプチド				◎1			○1		
		84	タンパク質		○2	○1	○3				△	
85	脂質											
86	核酸											
生命	生命の化学	87	酵素反応					○4				
		88	代謝, エネルギー代謝									
その他	89	実験器具						○4				
		* 2015年予想										
		・ 化学 I からの出題が多い										
		・ 化学反応式と量的関係, 異性体は頻出である。										
		・ 周期表と周期律, 原子の構造がよく問われる										
		・ 油脂は出るであろう										
		・ 元素分析は頻出										
		・ Δ , π は狙われるであろう										